

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・漢字や文法などの定着を確実にものにするために、小テストを実施する。 ・辞書やタブレット・PC等で、語句を調べることを習慣化させ、語彙力を身に付けさせる。 ・授業の予習、復習にあたる課題を提示し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。	・「話すこと・聞くこと」では、人との関わりの中で、伝え合う力を身に付けさせる。 ・「書くこと」では、文章を書くことに慣れることで、言葉による見方、考え方を働かせ、自分の考えを適切に表現する力を身に付けさせる。 ・「読むこと」では、様々な文章を読むことで、自分の思いや考えを広げたり、深めたりさせていく。 ・3つの領域の関連を図りながら学習を行う。	・個人で考える場面とグループで話し合う場面など、発問にあった活動を行い主体的な学びにつなげていく。 ・タブレット・PCなどICT機器を活用した意見交流の場を設け、一人一人が充実した対話的な学びができる環境を作っていく。	・毎授業、目標を定め、生徒が自らの学習過程を振り返り、課題をもって学習していける評価を行う。 ・各提出物の評価観点を明確にし、細やかなチェックを行う。 ・単元のまとめまでに、学習の途中経過や進度を適宜、確認し、評価を行う。 ・単元のまとめとして、完成した作品や発表等で評価を行う。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	【単元】・『教材』	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。	1			
	【詩を読む①】 『名づけられた葉』		2	単元目標：『名づけられた葉』を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしながら、伝え合う。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
	【小説を読む①】 『セミロングホームルーム』		4	単元目標：『セミロングホームルーム』を読んで文章全体と部分との関係に注意し登場人物の設定の仕方等を捉える。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。	進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。

<p>【言葉発見①】 『敬語の意味と種類』</p>		3	<p>単元目標：敬語のはたらきについて理解する。</p>		
			<p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。</p>		<p>進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>5 【説明文を読む①】 『じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか』 『人間は他の星に住むことができるのか』</p>		5	<p>単元目標：説明的文章を読んで、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考え、理解したことや考えたことを説明する。</p>		
			<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</p>	<p>進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。</p>
<p>【文章を書く①】 『課題作文』</p>	<p>大型ディスプレイ、PC、タブレット端</p>	3	<p>単元目標：文章の構成や展開を工夫して、自分の考えを文章で書く。</p>		
			<p>話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p>	<p>粘り強く文章全体を整え、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p>
<p>【話す・聞く①】 『グループディスカッション』</p>	<p>末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	4	<p>単元目標：互いの立場や考えを尊重しながら、グループディスカッションをする。</p>		
			<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</p>	<p>積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。</p>
<p>6 【短歌を読む①】 『短歌の世界/短歌十首』</p>		3	<p>単元目標：短歌の鑑賞を通して、自分の知識や経験と結びつけ、考えたことを伝え合う。</p>		
			<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>【短歌・俳句を書く①】 『短歌・俳句』</p>		5	<p>単元目標：表現の工夫やその効果などを考えながら、短歌や俳句を創作する。</p>		

			抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見直しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	
	【文法のまとめ①】 『用言の活用』	大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、	5	<p>単元目標：用言の活用について理解を深める。</p> <p>単語の活用について理解している。</p> <p>進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>		
7	【報告文を読む①】 『壁に残された伝言』	書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。	3	<p>単元目標：『壁に残された伝言』を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしながら、説明する。</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。</p>		
	【書写①】 『硬筆』		10	<p>単元目標：手本に忠実になるよう文字のバランスを確認しながら、硬筆に取り組む。</p> <p>漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p> <p>根気強く漢字と仮名のバランスを考え、これまでの学習を生かして、楷書や行書で文字を書こうとしている。</p>		
	【読書活動①】 『私の読書体験』		1	<p>単元目標：今までの読書体験と結びつけ、情報を活用しながらまとめる。</p> <p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習したことを生かして本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用しようとしている。</p>		
9	【評論を読む①】 『一〇〇年後の水を守る』		4	<p>単元目標：『一〇〇年後の水を守る』を読んで、文章と図表との関係を踏まえ、考えたことをまとめる。</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。</p> <p>進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。</p>		

<p>【古文を読む①】 『枕草子・徒然草』</p>	<p>大型ディスプレイ、 PC、タブレット端末、 書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	<p>4</p>	<p>単元目標：『枕草子』『徒然草』を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしながら、伝え合う。</p> <p>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの方や考え方を知っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p>
<p>【文章を書く②】 『表現プラザ』</p>	<p>大型ディスプレイ、 PC、タブレット端末、 書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	<p>2</p>	<p>単元目標：社会生活の中から題材を決め、感じたことを書く。</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>粘り強く伝えたいことが明確になるように工夫し、学習の見通しをもって感じたことを書こうとしている。</p>
<p>10【文章を書く③】 『手紙・メール』</p>	<p>大型ディスプレイ、 PC、タブレット端末、 書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	<p>4</p>	<p>単元目標：読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめ、相手や媒体を考えて書く。</p> <p>敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。</p>	<p>「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。</p>
<p>【話す・聞く②】 『プレゼンテーション』</p>	<p>大型ディスプレイ、 PC、タブレット端末、 書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	<p>5</p>	<p>単元目標：発表を通して、自分の考えがわかりやすく伝わるように説明や提案をする。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</p>	<p>積極的に資料や機器を用い、学習の見通しをもって説明や提案をしようとしている。</p>
<p>【言葉発見②】 『言葉のはたらきとコミュニケーション』</p>	<p>大型ディスプレイ、 PC、タブレット端末、 書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	<p>1</p>	<p>単元目標：言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づくことができる。</p> <p>言葉には、相手の行動を促すはたらきがある</p>	<p>言葉には、相手の行動を促すはたらきがある</p>	<p>進んで言葉のもつ相手の行動を促すはたらきがある</p>

				ることに気づいている。		らきに気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
			1	<p>【言葉発見③】 『上位語・下位語』</p> <p>単元目標：上位語・下位語の関係について理解を深める。</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>		進んで抽象的な概念を表す語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
			3	<p>【漢詩を読む①】 『漢詩の世界』</p> <p>単元目標：漢詩を読んで、観点を明確にして文章を比較し、考えたことを伝え合う。</p> <p>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの方や考え方を知っている。</p>	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。
1 1			5	<p>【古文を読む②】 『平家物語』</p> <p>単元目標：『平家物語』を読み、表現の効果について考え、伝え合う。</p> <p>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの方や考え方を知っている。</p>	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
			1	<p>【漢字のしくみ①】 『熟語の構成・熟字訓』</p> <p>単元目標：熟語の構成・熟字訓について理解を深める。</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
			5	<p>【情報をまとめる①】 『複数の情報を関連づけて考えをまとめる』</p> <p>単元目標：複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、考えをまとめる。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。	積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。
	大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。					

<p>【文章を書く④】 『投稿文』</p>		4	<p>単元目標：多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にして投稿文を書く。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p>	<p>粘り強く材料を整理して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって投稿文を書こうとしている。</p>
<p>1 2 【詩を読む②】 『大阿蘇』</p>		2	<p>単元目標：『大阿蘇』を読んで、文章の構成や表現の効果について考えを伝え合う。</p> <p>類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。</p>	<p>進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p>
<p>【言葉発見④】 『類義語・対義語・多義語』</p>	<p>大型ディスプレイ、 PC、タブレット端末、 書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	1	<p>単元目標：類義語・対義語・異義語について理解する。</p> <p>類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>		<p>進んで類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>【書写②】 『毛筆』</p>		1 0	<p>単元目標：手本に忠実になるよう文字のバランスを確認しながら、毛筆に取り組む。</p> <p>漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。</p>		<p>根気強く漢字と仮名のバランスを考え、これまでの学習を生かして、楷書や行書で文字を書こうとしている。</p>
<p>1 【評論を読む②】 『動物園でできること』</p>		4	<p>単元目標：『動物園でできること』を読んで、主張と例示との関係などを捉え、考えを伝え合う。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。</p>	<p>進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。</p>
<p>【文章を書く⑤】 『論説文』</p>		5	<p>単元目標：根拠の適切さや表現の効果を考えて、自分の考えが伝わる論説文を書く。</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、根拠の適切さを考えて</p>	<p>粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p>

				説明や具体例を加えたり、表現の効果を考え て描写したりするなど、自分の考えが伝わる 文章になるように工夫している。		
	【漢字のしくみ②】 『熟語の読み』		1	単元目標：熟語の読みについて理解を深める。 第1学年までに学習した常用漢字に加え、 その他の常用漢字のうち350字程度から 450字程度までの漢字を読んでいる。	進んで常用漢字について理解を深め、学 習したことを生かして課題に取り組もう としている。	
2	【小説を読む②】 『小さな手袋』	大型ディス プレイ、 PC、タブレ ット端末、 書画カメ ラ、デジタ ル教科書等 を適宜使用 していく。	4	単元目標：『小さな手袋』を読んで、登場人物の言動の意味などについて考え、伝え合う。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を 理解し使っている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関 係に注意しながら、主張と例示との関係など を捉えている。 「読むこと」において、登場人物の言動の意味 などについて考えて、内容を解釈している。	進んで登場人物の言動の意味などについ て考え、学習課題にそって考えを伝え合 おうとしている。
	【小説を読む③】 『走れメロス』		5	単元目標：『走れメロス』を読んで、文章の構成や登場人物の表現の効果について考え、伝え合う。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報と の関係について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や表現の効 果について考えている。	進んで登場人物の表現の効果について考 え、学習課題にそって考えを伝え合おう としている。
	【文法のまとめ②】 『助詞・助動詞のはたらき』		3	単元目標：助詞・助動詞のはたらきについて理解する。 助詞や助動詞のはたらき、文の成分の順序 や照応など文の構成について理解するとと もに、話や文章の構成や展開について理解 を深めている。		進んで助詞や助動詞などのはたらきや分 の構成について理解し、学習したことを 生かして課題に取り組もうとしている。
	【話す・聞く③】 『ビブリオバトル』		2	単元目標：根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫し、ビブリオバトルをする。 本や文章などには、さまざまな立場や考え 方が書かれていることを知り、自分の考え を広げたり深めたりする読書に生かしてい る。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面 に応じて、社会生活の中から話題を決めてい る。 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場 や考えが明確になるように、根拠の適切さや 論理の展開などに注意して、話の構成を工夫 している。	積極的に話の構成を工夫し、学習の見通 しをもって提案しようとしている。

3	【文章を書く⑥】 『創作文』		5	<p>単元目標：文章の構成や展開を工夫しながら、感じたことや想像したことをもとに創作文を書く。</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p>粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。</p>
	【話す・聞く④】 【文章を書く⑦】 『情報誌』	大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用している。	8	<p>単元目標：表現の効果などを確かめながら、情報誌を作る。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。</p> <p>「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって情報誌を作ろうとしている。</p>
評価材および評価方法			小テストや提出課題、定期考査等	小テストや提出課題、定期考査等	提出課題等

※【知識・技能】(1)ウ「第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。」については、単元ごとに指導を行い、書いたり、読んだりすることで生活に生かすことができるよう指導する。